

⑨ 日本国特許庁 (J P)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報 (U)

昭60-153126

⑫ Int. Cl.<sup>4</sup>  
A 61 G 17/08

識別記号 庁内整理番号  
6675-4C

⑬ 公開 昭和60年(1985)10月12日

審査請求 未請求 (全1頁)

⑭ 考案の名称 ぼさつ骨壺

⑮ 実 願 昭59-39352

⑯ 出 願 昭59(1984)3月19日

⑰ 考 案 者 岸 他 人 蔵 坂戸市鶴舞2-25-2

⑱ 出 願 人 岸 他 人 蔵 坂戸市鶴舞2-25-2

⑲ 実用新案登録請求の範囲

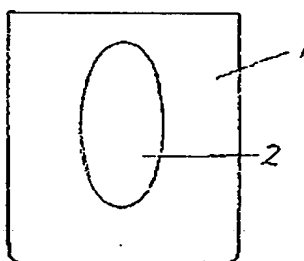
骨壺側面の一部を凸状の平面加工し、この平面に骨壺に入る仏の写真を転写焼付し、固着させて仏の生前の面影を永代に子孫に伝えまつるぼさつ骨壺。

図面の簡単な説明

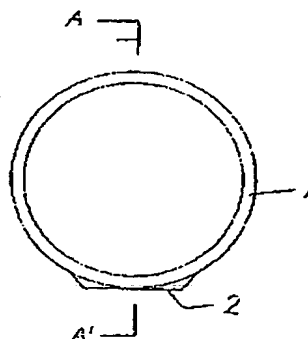
第1図面：本考案の正面説明図、第2図面：本考案の上面方図、第3図面：本考案の斜面図、第4図面：第2図面のA-A'断面図。

1…骨壺本体、2…凸状の平面。

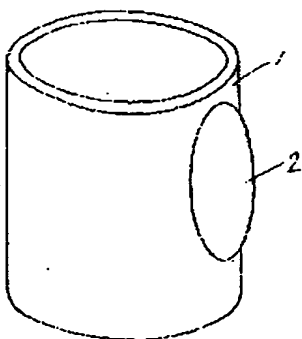
第1図面



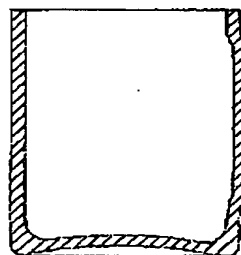
第2図面



第3図面



第4図面



⑨ 日本国特許庁 (JP)  
 ⑩ 公開実用新案公報 (U)

⑪ 実用新案出願公開

昭59-39352

⑫ Int. Cl.<sup>3</sup>  
 F 16 H 25/22

識別記号

庁内整理番号  
 7812-3J

⑬ 公開 昭和59年(1984)3月13日

審査請求 未請求

(全 1 頁)

⑭ ボールねじ

富津市千種新田132黒田精工株  
 式会社富津工場内

⑮ 実 願 昭57-135994

⑯ 出 願 人 黒田精工株式会社

⑰ 出 願 昭57(1982)9月8日

川崎市幸区下平間239番地

⑱ 考 案 者 松井淳

⑲ 実用新案登録請求の範囲

(1) 外周面にねじ溝を有するねじ軸と、内周面にねじ溝を有し且つボール循環チューブによる循環機構を有するナットと、前記両ねじ溝へ嵌合して循環する多数のボールとからなるボールねじにおいて、前記ボール循環チューブを装着するナットのボールすくい上げ穴及びボール戻し穴を、ねじリード角に合わせた傾斜状態で接線方向に穿設すると共に、ボール循環チューブをナットのボールすくい上げ穴部からボール戻し穴部に至る長手方向の中間で分断した長さの2つのチューブ片により形成し、この2つのチューブ片をナットのボールすくい上げ穴及びボール戻し穴へ各々挿入したのち、分断部分を合致

させてボール循環路を構成したことを特徴とするボールねじ。

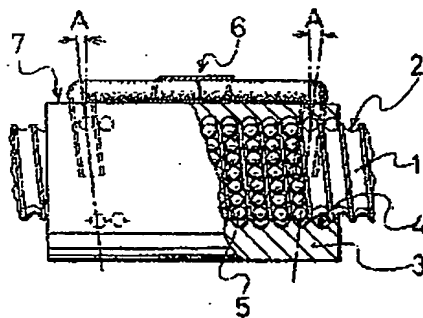
(2) 分断部分を合致させて装着したチューブをナットへ押圧する固定手段を有する実用新案登録請求の範囲第1項に記載のボールねじ。

図面の簡単な説明

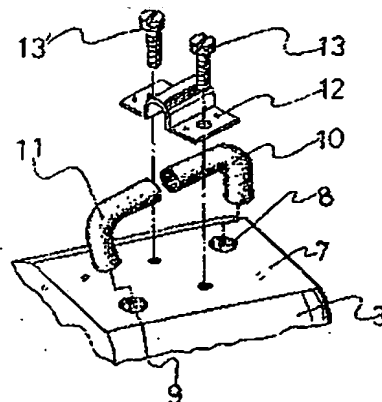
第1図は本願実施例による部分断面した正面図を示し、第2図は第1図に示す実施例のボール循環機構の斜視説明図を示す。

(符号の説明)、1……ねじ軸、3……ナット、5……ボール、6……ボール循環機構、8……ボールすくい上げ穴、9……ボール戻し穴、10、11……チューブ片、12……金具、13、13'……ねじ。

第1図



第2図



⑨ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑪ 公開実用新案公報(U)

昭63-132156

⑫ Int. Cl.

F 16 H 25/22

識別記号

庁内整理番号

C-7617-3J

⑬ 公開 昭和63年(1988)8月30日

審査請求 未請求 (全2頁)

⑭ 考案の名称 ボールねじ

⑮ 実 願 昭62-24330

⑯ 出 願 昭62(1987)2月20日

⑰ 考 案 者 江 口 省 悟 千葉県富津市千種新田132番地 黒田精工株式会社富津工場内

⑱ 出 願 人 黒田精工株式会社 神奈川県川崎市幸区下平間239番地

⑲ 実用新案登録請求の範囲

外周面にねじ溝を有するねじ軸と、内周面に該ねじ溝に見合うねじ溝を有し且つボール循環チューブによる循環機構を有するナットと、前記両ねじ溝からなる螺旋状通路内とボール循環チューブ内に多数のボールを収納して循環するボールねじにおいて、前記ボール循環チューブの両端側をねじ溝の接線方向へ彎曲させ且つその両端開口部へボール抱い上げ部を形成すると共に、前記ナット外周面へ軸線と平行に切断面を設け、該切断面と垂直方向に前記ボール循環チューブの彎曲部が該切断面から垂直に挿入し得る大きさで且つその内部先端側に該彎曲部外側面に係合する傾斜面を有し該切断面から内周ねじ溝へ連通するチューブ挿入孔をねじ溝の所定リード数隔てた位置へ二個形成し、前記ボール循環チューブをナット外周切断面からチューブ挿入孔へ垂直に落とし込むことに

よつて前記ボール抱い上げ部をねじ溝の接線上に位置決めしてボール循環路を構成したことを特徴とするボールねじ。

図面の簡単な説明

第1図aは本考案実施例によるボールねじのボール循環チューブの正面図を示し、第1図bはナットの部分断面にした正面図を示し、第2図はチューブ挿入孔の縦断面図を示し、第3図はナットの上面図を示し、第4図は本考案のボールねじの上面図を示し、第5図は部分断面にした従来のナットの正面図を示す。

(符号の説明)、2……ねじ軸、4……ナット、7……ボール循環チューブ、8……ボール、9……切断面、10、10'……チューブ挿入孔、11……開口部、12……傾斜面、15……ボール抱い上げ部。

第3図

